

読む

物語の人物像を読み取る(2)

名前

次の文章を読み、以下の問いに答えましょう。

ゴーシユは町の活動写真館でセロを弾く係りでした。けれども、あんまり上手でないという評判でした。上手でないどころではなく実は仲間の楽手のなかではいちばん下手でしたから、いつでも楽長にいじめられるのです。

ひるすぎ、みんなは楽屋にまわくならんで、今度の町の音楽会へ出す第六交響曲の練習をしていました。トランペットは一生けん命歌っています。

ヴァイオリンも二いる風のように鳴っています。クラリネットもボーボーとそれに手伝っています。

ゴーシユも口をりんと結んで眼を皿のようにして楽譜を見つめながらもつ一心に弾いています。

にわかにはたつと楽長が両手を鳴らしました。みんなぴたりと曲をやめてしんとしました。楽長がどなりました。

「セロがおくれた。トオテテ テテテイ、ここからやり直し。はいっ。」

みんなは今の所の少し前の所からやり直しました。ゴーシユは顔を真っ赤にして額に汗を出しながら、

やっといま言われたところを通りました。ほっと安心しながら、つづけて弾いていますと楽長がまた手をぱつとうちました。



活動写真館…映画館のこと

セロ…チェロという楽器

楽手…楽器を奏でる人

宮沢賢治「セロ弾きのゴーシユ」「より

物語文では、登場する人物について外見の様子や性格、考え方などの「人物像」を正しくとらえておくことが大切です。

だっぴみきょう



【1】ゴーシユはこの楽団で何をしていますか。あてはまるものに をつけましょう。

- *セロを弾く係 () ()
- *トランペットを吹く係 () ()
- *合奏団の楽長 () ()

【2】ゴーシユの演奏の評判はどんなものですか。九字でぬき出しましょう。

Blank box for answer to question 2.

【3】ゴーシユは楽長にいつもいじめられています。それはなぜですか。あてはまるものに をつけましょう。

- *いつも遅刻ばかりしてくるから () ()
- *演奏が一番下手だから () ()
- *一生けん命で楽長を見ていないから () ()

【4】線から、ゴーシユの様子を書きぬきましょう。

Blank box for answer to question 4.

Blank box for answer to question 4.

Blank box for answer to question 4.

Blank box for answer to question 4.

楽譜を

眼を

口を

もつ

に弾いています。

読む

物語の人物像を読み取る(2)

名前

こたえ

次の文章を読み、以下の問いに答えましょう。

ゴーシユは町の活動写真館でセロを弾く係りでした。けれどもあんまり上手でないという評判でした。上手でないどころではなく実は仲間の楽手のなかではいちばん下手でしたから、いつでも楽長にいじめられるのです。

ひるすぎ、みんなは楽屋にまるくならんで、今度の町の音楽会へ出す第六交響曲の練習をしていました。トランペットは一生けん命歌っています。

ヴァイオリンも二いろいろ風のように鳴っています。クラリネットもボーボーとそれに手伝っています。

ゴーシユも口をりんと結んで眼を皿のようにして楽譜を見つめながらもつ一心に弾いています。

にわかにはたつと楽長が両手を鳴らしました。みんなぴたりと曲をやめてしんとしました。楽長がどなりました。

「セロがおくれた。トオテテ テテテイ、ここからやり直し。はいっ。」

みんなは今の所の少し前の所からやり直しました。ゴーシユは顔を真っ赤にして額に汗を出しながら、

やっといま言われたところを通りました。ほっと安心しながら、つづけて弾いていますと楽長がまた手をぱつとうちました。



活動写真館…映画館のこと

セロ…チェロという楽器

楽手…楽器を奏でる人

宮沢賢治「セロ弾きのゴーシユ」「より

物語文では、登場する人物について外見の様子や性格、考え方などの「人物像」を正しくとらえておくことが大切です。

やってみよう



【1】ゴーシユは何をしている人ですか。あてはまるものにつけましょう。

*セロを弾く係

()

*トランペットを吹く係

()

*合奏団の楽長

()

【2】ゴーシユの演奏の評判はどんなものですか。九文字で抜き出しましょう。

あんまり上手でない

【3】ゴーシユは楽長にいつもいじめられています。それはなぜですか。あてはまるものにつけましょう。

*いつも遅刻ばかりしてくるから

()

*演奏が一番下手だから

()

*一生けん命で楽長を見ていないから

()

【4】線から、ゴーシユの様子を書き抜きましょう。

口を **りんと結んで**

眼を **皿のようにして**

楽譜を **見つめながら**

もう **一心** に弾いています。



ここがポイント

人物像をとらえて読むのは、物語文を楽しく味わうために必要なことです。読み手であるあなたが、主人公の姿や性格などを想像するために、次のことに注意して読み取ってみましょう。

主人公の名前や年れい、住んでいるところなど

(名札や名刺に書くようなことと考えればいいですね。)

主人公の見た目

(体つきや動作、服そうなど)

主人公の性格や考えていること

(地の文に書いてあるときもありますが、会話文には、特に注意しましょう！)

【1】最初の文に、名前といっしょに書いてある部分ですが、読んでいくと他の登場人物が出てきますね。その登場人物についてもきちんと読み取っておき、**会話文など、だれの言葉かとらえながら読む**といいでしょ。

【2】ここでは問いの文の中にある「**評判**」という言葉を手がかりに探してみましょ。「**評判**」といっつのは、他の人のうわさのことですから、「**ゴーシユ**の演奏はだれがきいても下手だった」といっつことが想像できますね。

【3】いじめられたといっつことは本文の四行目で分かります。それが、本当かどうかは、その後の文章の中に書かれています。他の二つの理由については、どちらも本文中には書かれていないことですね。

【4】「**ゴーシユ**の演奏の様子がよく分かる**描写**です。 **一生懸**命を表す**工夫**が見られますね。

【1】から【4】の描写からわかる「**ゴーシユ**」の人物像は



- ・「**ゴーシユ**」はセロの演奏を行う人だ。
- ・セロの演奏はあまり上手ではなく、それが原因で楽長にいじめられている。
- ・「**ゴーシユ**」はセロの演奏に一生懸命に取り組んでいるとてもまじめな性格だ。
- ・楽長に怒られないように緊張しながらセロを弾いている。

「**ゴーシユ**の人物像を、あなたはどのよう

に感じましたか。そしてこのあと物語が進むにつれて「**ゴーシユ**」ほどのような成長や変化をしていくのでしょ。

そう考えると、物語の登場人物の人物像をしっかりとらえておくことは物語を楽しく読む「ツナ

り」のなかでもしれませんね。

最後、「**ゴーシユ**」に対する**評価**は次のように変わります。

「**ゴーシユ**君、よかったぞお。あんな曲だけれどもここではみんなかなり本気になって聞いてたぞ。一週間か十日の間にすいぶん仕上げたなあ。十日前とくらへたらまるで赤ん坊と兵隊だ。やるうと思えばいつでもやれたんじゃないか、君。」仲間もみんな立って来て、「よかったぜ」「**ゴーシユ**にいいました。

さて話のなかで何が起ったのでしょね。

「セロ弾きの「**ゴーシユ**」は宮沢賢治の作品です。宮沢賢治の他の作品には「注文の多い料理店」「やまなし」「銀河鉄道の夜」「どんぐりと山猫」などがあります。教科書で読んだ人も多いと思います。宮沢賢治の他の作品もぜひ読んでみてください。